

西水元地区震災復興まちづくり訓練

第1回 アンケートにて頂いたご意見と葛飾区の考え方

頂いたご意見に対する区の考え方を以下にお示します。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の取組の参考にさせていただきます。

(2) 講演「地域のまとまりが早期の復興を促す」(松原永季氏)の内容について

ご意見	葛飾区の考え方
マイクからの声が聴き取り難かった。	今後、講演中の音響環境を適宜確認・調整するなどしてまいります。

その他、意見、感想(訓練のすすめ方、進行スタッフへのコメント等)

ご意見	葛飾区の考え方
1. 参加者について - 今後葛飾区としてもきちんと住民の話を聞いて復興していけるようにしてもらいたい。若い人たち(30~40代)が会場にあまりいないのがやはり気になる。別の機会にまちづくりに対しての意見も若い子たち(小中高生)から聞いてもらえたらいいと思う。今回貴重な体験をさせていただいているので、次回の学びも参加できるのがあります。事前にまちづくりの勉強をしておくことは非常に重要だと思いました。 - 受講者側の問題であるが、参加者が少なく、意識が高くないことに残念。	- 訓練の開催にあたっては、対象地域の全戸にチラシを配布し周知を行っておりますが、より若い世代の方も参加しやすいよう、オンラインでの開催や講義の動画配信など、実施方法について検討してまいります。 - また、今後地区内の学校にもふっこう訓練通信を配布させていただこうと考えております。ご意見いただいたとおり、小中高生にも地域のまちづくりに関心をもってくださいことは重要と考えておりますので、今後も取組を検討してまいります。 - 訓練実施後、ふっこう訓練通信を全戸に配布させていただき、追加募集を実施します。 - 今後も、より多くの方にご参加いただけるよう取り組んでまいります。

ご意見	葛飾区の考え方
2. 想像で復興を考えるとというのは、いささか無理があるような気がします。実際の事例を見聞きすることはできるが、それを我が身、我が家、我が地域に置き換えるのは難しい。DVD は軽い。	実際に被害が起きていない状態で、住まいの復興やまちの復興を想像だけでご検討いただくのは難しい面もあるかと思いますが、参加者の皆様に復興について少しでも思いを巡らせていただき、その難しさをご認識いただけるだけでも、本訓練を実施する意義はあると考えております。なるべくわかりやすい訓練となるよう努めてまいります。 DVD は東京都が阪神・淡路大震災を受けて平成 10 年に作成したものであるため、より今の時代や区の現況に沿った意識啓発ができるよう、イメージづくりの方法について検討してまいります。
3. 部分復興で都市計画による用途地域の見直しはあるか？	第 1 回訓練でご覧いただいたアニメーションの事例のように、復興まちづくり計画に合わせて、用途地域や指定容積率の見直しが必要となる場合がございます。 東日本大震災で被災した福島県の大熊町では、復興に向けて駅周辺に企業用地を整備するために住居専用の用途地域を準工業地域等に変更した事例があります。

いただいたご感想など

- いつくるかわからない震災に対して備え、復興まちづくりが必要だと思いました。
- パワーポイントでの説明や DVD がとても分かりやすくイメージが付きやすかったです。
- 私も大阪にて阪神・淡路大震災を経験しましたので大いに参考にすべきだと感じた。
- 当時をわかっている先生の話が聞けて大変良かったです。アドバイスもなるほどということが多かった。
- 町会や PTA 等に関わってきて、住民のまとまりはどうしたら作れるのか、改めて考えさせられます。
- 中林先生の最後のお話が、とても頭の中をスッキリと整理させていただきました。次回以降へ向けて楽しみです。
- 町会役員として声をかけていただき参加させてもらったが、とても良かった。